

■ 令和3年度 第1回 いきいき西区ささえあいプラン推進委員会

日 時：令和3年7月30日（金）午後2時～

会 場：西新潟市民会館2階 多目的ホール

（司 会）

定刻になりましたので、これより令和3年度第1回いきいき西区ささえあいプラン推進委員会を開会いたします。

本日の司会を務めさせていただきます、西区健康福祉課課長補佐の浮須と申します。よろしくお願いたします。

本日の会議は、佐々木委員、小竹委員、佐藤委員、コミュニティ中野小屋の真嶋会長から欠席のご連絡がありましたので、ご報告いたします。

また、新年度に入り、推進委員の交代がありました。西内野コミュニティ協議会の推進委員が板井様から玉木様に、五十嵐小学校区コミュニティ協議会の推進委員が青木様から岩城様に交代されましたことをご報告いたします。

本会についてご説明させていただきます。本会につきましては、後日、会議録を公開するため、会議を録音させていただきますので、よろしくお願いたします。

また、開催案内でもお知らせいたしましたが、本会は「いきいき西区ささえあいプラン推進委員会開催要綱 第5条第2項」の規定により、地域コミュニティ協議会の会長様にもご同席いただきました。

地域コミュニティ協議会長様にもご同席いただきましたのは、今年の2月に開催いたしました、令和2年度第3回の推進委員会で、各校区の情報交換も含めて、推進委員だけではなく、コミュニティ協議会の代表者も出席できるとよいというご意見に基づき、ご案内させていただきました。

また、本日は第2次計画の総括と先般おこなわせていただきましたアンケート調査結果の報告もさせていただきます。

地域コミュニティ協議会長様にも忌憚のないご意見を賜りたいと存じますが、ご発言につきましては、推進委員と同様、後日、会議録として公開させていただきますので、予めご了承ください。

なお、会場についてですが、こちらの会場は飲食禁止となっております。お飲み物を飲まれる場合などはロビーで願いたします。

会議に入る前に、本日の会議資料のご確認を願いたします。お手元にお配りしました

資料は、本日の次第、出席者名簿、資料2-2「第2次いきいき西区ささえあいプラン取組み事業評価シート まとめ」、資料4-1「コミュニティ協議会別データ (R3.3.31 現在)」、資料4-2「コミュニティ協議会別 高齢者数・高齢化率の推移」、資料5「いきいき西区ささえあいプラン推進委員会委員 任期図」になります。

また、資料番号のない当日配付資料につきまして、「地区懇談会について」、「支え合いのしくみづくりについて」、新潟大学でおこないます「新型コロナワクチン集団接種について」がございます。皆様、資料はすべてお手元がございますか。足りない方等は職員にお声かけをお願いいたします。

なお、資料1「第2次いきいき西区ささえあいプランの評価について」、資料2「第2次いきいき西区ささえあいプラン取組み事業評価シート」、資料3-1「基本目標達成のための主な取組みと目標値」、資料3-2「取組み事例抜粋」、別紙1「各基本目標の内容について」、参考1「第2次いきいき西区ささえあいプラン 各取組みの実績一覧」につきましては、事前にお配りさせていただいておりますけれども、本日ご持参いただくようお願いしているところですが、お忘れになった方がおられましたらお声かけいただければと思います。よろしいでしょうか。

次第に沿って進めさせていただきます。

はじめに、西区長の笠原よりごあいさついたします。

(笠原区長)

皆さん、こんにちは。本日は本当に大変お暑い中、そしてお忙しいところ、第1回いきいき西区ささえあいプラン推進委員会にご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。

皆様方には、日頃からそれぞれの地域におきまして、地域福祉を進めるため、さまざまな事業に取り組んでいただいておりますことに心より感謝申し上げます。

今年度、スタートいたします第3次いきいき西区ささえあいプランにつきましては、昨年度の策定作業にあたりまして、推進委員の皆様、コミュニティ協議会の会長様をはじめ、地域の皆様方の多大なるご協力のもと、それぞれの地域で話し合いを重ねていただき、皆様の思いのこもった地域福祉計画を策定いただきましたことに重ねて御礼申し上げます。

また、社会福祉協議会におかれましても、各地域の計画づくりに多大なるサポートをいただきましたことにも心より敬意を表します。西区といたしましても、皆様の思いをしっかりと受け止め、区政に活かしてまいりますので、変わらぬ皆様方のご支援、そしてご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

本日の推進委員会でございますが、第2次計画の実績と評価や第3次計画の事業計画のご審議をいただくという予定としております。また、ささえあいプランは推進委員の皆様だけ

ではなく、区と地域が一体となって取り組んでいくことが大切であると考えておりますことから、本日は推進委員の皆様のほかにもコミュニティ協議会の会長様にもご参加をお願いさせていただきました。今後とも必要に応じまして、コミュニティ協議会の会長様にご出席をお願いしたいと考えておりますので、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

第3次計画の初年度にあたります今年度は、計画で示した目標に向けて歩み始める年となります。現在はコロナ禍により活動も制限がされるなど、いまだ社会情勢は厳しい状況ではございますが、区民の皆様をつながり維持し、支え合い、住み慣れた地域で笑顔でお過ごしいただくためにも、このささえあいプランの西区の取組みの道しるべといたしまして、地域の皆様と区、そして社会福祉協議会などの関係機関がお互いの力を合わせて取り組んでまいりたいと考えておりますので、本日はぜひ忌憚のない意見交換をお願い申し上げます。

本日は、よろしくお願い申し上げます。ご参加いただきまして、ありがとうございました。

(司 会)

続きまして、当推進委員会の委員長であります五十嵐委員長よりごあいさつをお願いいたします。

(五十嵐委員長)

皆様、こんにちは。委員長を務めさせていただいております、新潟医療福祉大学の社会福祉学科、五十嵐紀子と申します。今日は、皆さん「お暑い中」ということが常套句のごあいさつされるわけなのですが、今はオリンピックもやっぴまして、お家で涼しいところでオリンピックを見ていたいなというようなところで皆さんお越しくださいませ、ありがとうございます。

私が勤めている新潟医療福祉大学の話で恐縮なのですが、そこから初めてのオリンピックが生まれて、昨日、泳いで準決勝に進出したのですが、残念ながら決勝には進まなかったのですけれども、すごく暑い中、しばし夢を見させていただいたというようなところです。そんなことも、わたくしごとみたいな話なのですが、皆さんとお話しできる機会を、このような場を作ってくださった事務局の皆さんにも大変感謝申し上げます。

コロナの感染がこれだけ広がってしまして、なかなかこういう集まる場をもてるのだろうかかと心配しておりましたので、このように皆さんの感染予防に対するご協力、ご準備いただいて、こういう場を作っていただきましたことを改めて、ここにいらっしゃる皆さん全員に感謝申し上げます。

今日は長い時間となりますけれども、どうぞよろしくお願いいたします。

(司 会)

ありがとうございました。

これより議事進行に移ります。推進委員会開催要綱第4条第2項により、五十嵐委員長に議事進行をお願いいたします。

(五十嵐委員長)

議事を進めさせていただきたいと思います。

まず、議題(1)「第2次いきいき西区ささえあいプランの評価について」、事務局よりご説明をお願いいたします。

(事務局：小林係長)

西区健康福祉課の小林でございます。皆様には大変いつもお世話になっております。私からご説明させていただきます。

お手元の資料1「第2次いきいき西区ささえあいプランの評価について」と書かれましたA4の資料をご覧ください。

平成27年度から始まりました「第2次いきいき西区ささえあいプラン」についてですが、令和2年度、昨年度をもちまして6年間の計画が終わり、今年度、令和3年度からは新たに第3次計画としてスタートしたところでございます。

昨年度は、皆様方からも第3次計画策定に向けて各地区で多大なご尽力を賜りまして、改めて御礼を申し上げます。

この議題(1)では、昨年度で終了いたしました第2次の行政計画であります、地域福祉計画を振り返り、取組み事業の評価をおこない、今後の課題と方向性を洗い出すことで、第3次計画につなげていこうと考えております。

なお、各校区の地域別計画の振り返りにつきましては、昨年度の推進委員会や各校区の地区懇談会の場でおこないましたことから、本日は省略させていただきます。

資料の2「評価の方法」をご覧ください。評価については、平成27年度から令和2年度におこなわれました事業について、基本目標ごとに分類し、それぞれAからDまでの4段階で評価をおこないました。

AからDの評価の指標については記載のとおりです。評価の出し方については、目標値の数値がある事業については、令和2年度の実績をもとに、その目標値に対しての達成率で評価し、目標値がない事業につきましては、6年間の実績や事業に参加されたかたなどの満足度や事業の課題等を検証し評価をおこないました。

なお、コロナ禍により令和2年度に中止などの影響が出た事業につきましては、令和元年度以前の実績をもとに評価をおこなっております。

6年間の各年度の実績につきましては、A3の資料で参考1「第2次いきいき西区ささえあいプラン」各取組みの実績一覧で記載しておりますので、そちらをご参照ください。

このようにして出しました取組みの評価を参考に、第2次計画では、各基本目標をどの程度達成できたのか、また第3次計画に向けての課題や方向性を示し、最後に推進委員そしてコミュニティ協議会の会長の皆様からご意見をいただくことで総括とさせていただきたいと思いをします。

まず、A4の資料2-2「取組み事業評価シートまとめ」をご覧ください。AからDの各評価の点数と割合を記載しております。各基本目標を合わせたA判定は57事業のうち47事業、82.5パーセントとなりました。B判定は10事業で17.5パーセント、C及びD判定はございませんでした。

続きまして、各取組みの評価についてご説明いたします。今回はA3の資料2「第2次いきいき西区ささえあいプラン取組み事業評価シート」をご覧ください。

そちらに各取組み事業の評価を掲載しておりますが、その評価が妥当であるか客観的に判断できるように、第2次計画の初年度にあたる平成27年度の実績と最終年度にあたる令和2年度の実績を比較できるように表示し、評価理由と今後の課題と方向性も記載しております。先ほども申し上げましたとおり、ほかの年度の実績につきましては、参考1の資料で確認をお願いいたします。

各事業の説明に入りますが、お時間の関係もございいますので、いくつかの事業を抜粋してご説明させていただきますことをご了承ください。まず、西区よりご説明した後に、続きまして社会福祉協議会よりご説明いたします。

1ページ目、基本目標1のNO.1「地域包括ケアシステムの構築」をご覧ください。こちらの事業は、「高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援を一体的に提供する地域包括ケアシステムの構築に向けて、住民組織やボランティア団体、NPOなどの多様な主体による生活支援・介護予防サービスの創出を推進する」といたしました事業でございいますが、目標値は設定されておりません。こちらの評価につきましては、住民主体の訪問型生活支援サービスや地域の茶の間の新規開設や週1回以上開催への拡充の件数が、地域の皆様のご尽力もあり順調に増加しましたことからA評価とさせていただきました。今後は、さらなる充実に向け、支え合いのしくみづくり推進員と協働で支援を進めてまいります。

次に、2ページのNO.7「西区ふれあい・ふゆまつり」をご覧ください。こちらは例年2月におこなっていた冬のイベントでしたが、令和2年度は新型コロナウイルスの影響により中止となりましたが、令和元年度までは2,000人を超える参加がありましたことからA評価としております。なお、令和3年度については、秋の屋外イベントとして開催する予定です。

次に、7ページのNO.1「健康相談、健康教室事業」をご覧ください。こちらは、保健師

や栄養士などによる健康相談や健康教室で、目標値は「参加者延べ8,000人」ですが、令和2年度は新型コロナウイルスの感染予防のため事業を縮小しましたところ3,925人となっております。しかしながら、令和元年度までの数年は参加者が1万人を超えているためA評価といたしました。今後もこうした事業を継続してまいります。なお、平成28年度から令和元年度の実績については、参考1で確認していただけます。

次に、11ページのいちばん上、NO.6「世代間交流促進、高齢者見守り啓発事業」をご覧ください。この事業の目標値は「西区の全小学校で認知症サポーター養成講座を開催」となっておりますが、第2次計画の期間内では、小学校は19校で実施いたしまして、全校の20校には1校届きませんでしたのでB評価といたしました。第3次計画では、すべての小学校で開催できるよう啓発を進めてまいります。西区からの説明は以上です。

(社会福祉協議会：佐藤局長)

続きまして、社会福祉協議会よりご説明をさせていただきます。日頃から西区社会福祉協議会の運営にご支援をいただきまして、誠にありがとうございます。事務局長の佐藤から説明させていただきます。

社会福祉協議会もいくつかの事業を抜粋してご説明させていただきます。戻っていただきまして、基本目標1から4ページのNO.21、NO.22をご覧ください。

NO.21、NO.22と二つに分けて記載をしてございますが、21番の出前講座は、地域や企業への出前講座、22番は学校への福祉の学びの支援でございます。どちらも福祉教育の推進と考えております。

令和2年度はコロナ禍で回数や学校数は減りましたが、毎年さまざまなテーマで地域企業等の出前講座、または学校への支援を実施しており、コロナ禍におきましてもオンライン交流に取り組むなど対応したことにより、A評価とさせていただきます。

次に、基本目標2から、6ページのNO.7、NO.8をご覧ください。7番は災害ボランティアセンターの訓練や研修、8番は災害ボランティアセンターのためのネットワーク構築に取り組むものでございます。訓練、研修につきましては、令和元年度は台風災害被災地へ講師としてお招きをしておりましたかたが被災地支援に入ったことなどにより、実施できませんでした。また、令和2年度もコロナ禍で実施できませんでしたが、それまでの実績をもとにB評価とさせていただいたところでございます。

8番の連絡会議は、開催できなかった年度もございましたが、オンラインを活用し、防災士や大学生、企業ボランティアなどと連携ができてはじめていますので、B評価とさせていただきます。

また、同じページの10番をご覧ください。低所得世帯等への生活福祉資金の貸付ですが、

令和2年度は新型コロナ特例貸付のため、かつてない件数の相談や申請がありました。件数が評価につながるものではありませんが、職員全員で協力して対応しており、A評価とさせていただきます。

続きまして、基本目標3からは、9ページの11番をご覧ください。イオン新潟青山店のご支援によりまして、コミュニティ広場をお借りしながら、毎月さまざまなテーマで講座を開催しているものでございます。

ほぼ毎月開催しておりましたが、令和2年度はコロナ禍のため開催できず、また3回ほど企画をいたしました。申込者がございませんでした。ただ、令和元年度までにおきましては、毎月1回開催し、またアンケートの結果からB評価とさせていただきます。

今年度は、イオン新潟青山店から引き続き会場を利用させていただいても構いませんというお話がございまして、6月に企画をいたしました。残念ながら申し込みがなかったという状況ではございますが、今後も会場活用の方法も含めて講座内容なども検討してまいりたいと思っております。

続きまして、基本目標4からは、11ページの10番をご覧ください。コミュニティソーシャルワーク事業です。ここには、実績として相談件数が掲載されておりますが、令和2年度はコロナ禍の生活費の相談が多くなりました。

多職種連携のネットワークである、にしCo.Mi.NETを開催し、そこから家電バンクの取り組みが生まれたり、昨年度からは8050問題やひきこもりの人を支援するプロジェクトが進んでおり、A評価といたしました。

ひきこもりびとミーティングという名前で、この8月12日に西区管内のケアマネージャー向けの研修を開催し、その後、調査をする予定でございます。社会福祉協議会からは以上でございます。

(五十嵐委員長)

ありがとうございました。今ほどの事務局からのご説明で、皆様からご質問がありましたらお願いします。発言があるかたは挙手をさせていただきまして、マイクをお待ちください。その際、お名前をおっしゃってからご発言をお願いいたします。いかがでしょうか。

(小泉会長)

内野・五十嵐まちづくり協議会の小泉でございます。非常に成績がよくて何よりなのですが、この事業評価の出来というものは、第3次の課題を見つけるということなのでしょうけれども、一つ教えてもらいたいののですが、CとかDはないのかなということです。つまり、いいものは別に課題などはないわけですので、むしろ非常に苦労したとか、非常に点

が悪いとか、そういうものをむしろ次計画に向けて課題として、どうしたらいいかということがあると思うのですけれども、今回、みんな立派でいいのですが、そういう問題点というものはなかったのでしょうか。

(五十嵐委員長)

よいところだけを評価して、問題点を見ないというのもちょっとあれですけども、出てきたものがみんなA、Bですよ。事務局から何か、そちらについてご回答ありますか。

(事務局：小林係長)

ご意見ありがとうございます。結果的にCやDがなかったというところになりますが、例えばA3の資料のいちばん最初の「地域包括ケアシステムの構築」というところもA評価にしたところで、評価理由は、訪問型サービスや茶の間の新規拡充などが進みましたということになっているのですが、右側の「今後の課題と方向性」をご覧くださいますと、「生活支援や見守り活動について、さらなる充実が必要であり、担い手確保のための多くの住民の参画と企業等、多様な主体との協働が必要です」という課題があると考えております。今後についても、推進員と協働で支え合い活動への支援・啓発を引き続き進めていきますという方向性を示しておりまして、この評価の基準になりました、指標につきましてはA判定と捉えておりますが、それをもってすべての地域課題が解決したかというのと、さらなるまた課題が掘り起こされている、次へのステップがあるというふうに認識しております。

ほかの事業につきましても同様で、事業の推進につきましては精一杯、区として、そして社会福祉協議会として取り組ませていただいて、件数や満足度はA評価、B評価だったということでお話しさせていただきましたが、今後についてもその必要性ですとか推進するところはお一層必要だと思っております。

(五十嵐委員長)

ありがとうございました。ご回答は、それでよろしかったでしょうか。

(小泉会長)

内容は理解いたしました。評価をこういうふうに出したということで結果は分かったのですが、今回の目的は、何度も繰り返すようで恐縮ですけども、次計画への洗い出しと、その対策を練るためですので、これはこれで了解したのですけれども、むしろ、あとから出るのかも分かりませんが、課題は何なのかというところを我々としてはもっと明確に。これは非常にほとんど右側の課題というか、今後の方向性というものは全部ありますよね、だからそうすると、どれがどうなのかと、みんな書いて、評価を見るのだけれども、今後、これだけいっぱいある、ほとんどみんな課題があるというようなことなので、そういうようなところも説明があると分かりやすいのですけれども、了解しました。とにかく課題は何なの



かということを確認に教えてもらえるとよろしいと思います。分かりました。ありがとうございました。

(五十嵐委員長)

ご意見ありがとうございました。なかなか小さな紙の、この紙面ではかなりはぐり甲斐があると思うのですけれども、やはり「今後の課題と方向性」に書かれているエッセンスみたいなものはすごく大事だと思いますので、それを皆さんと共有して今後につなげていく議論ができるかが必要かなと思います。ご意見ありがとうございました。

ほかに、いかがでしょうか。まず細野委員、お願いいたします。

(細野委員)

小泉会長、どうもありがとうございました。お陰で発言しやすくなりました。

私から一つ、悩みというかご相談、質問というわけではないのですが、手元の資料の12分の9ページにNO.11「イオン社協のひろば」というものがあるのですけれども、イオン新潟青山店は非常にそういった活動に協力的で、こういうスペースを設けられているのはよく分かっているのですけれども、羨ましい限りで、残念ながらうちの地域の坂井輪小・小新中学校区のイオン西新潟店、通称小新店ですけれども、そこにこの間、包括支援センターのかたと別件でお邪魔したときに、スペースを貸していただけないかというお願いしたのですけれども、賃料を出せば貸すよ、みたいな反応だったのですけれども、なぜ同じイオンさんで、そういう違いがあるのかという、何か経緯や仕組みで分かるかたがいらっしゃれば教えていただきたいなとお願いしたいのですけれども。

(五十嵐委員長)

ご発言ありがとうございました。社会福祉協議会の佐藤局長、よろしくお願いいたします。

(社会福祉協議会：佐藤局長)

ご質問・ご意見ありがとうございました。会場のイオン青山の借用の経緯につきましては、大変申し訳ありませんが東青山コミュニティ協議会の風間会長のほうが詳しいので、ご説明いただければと思うのですが、ただ新潟西のほうにつきましては、福祉団体等でやる黄色いレシートを入れると、レシートの何パーセントかが寄付金として入ってくるというものがあろうかと思いますが、新潟西店さんは社会福祉協議会もその一つに加えていただいております、年に何回か寄付金が社会福祉協議会に入ってくるというような形でご協力はいただいております。会場については風間会長からよろしくお願いいたします。

(風間会長)

東青山小学校区コミュニティ協議会の風間です。私の前任の小柳会長が会長のときに、私どもの地区では、いわゆる公民館にあたるような施設がないものですから、それで地域の方

から例えば私ども所属している会員となつていただいている自治会が 22 ありますけれども、その自治会長さんが全自治会から連名の署名をしていただいで、コミュニティ協議会の会長ももちろんそうですけれども、新潟市に、イオンにそういう場所をつくるので、なんとかご協力いただきたいという嘆願書のようなものを出されたのです。

それが現在のイオン新潟青山店は旧ジャスコと言っていたときからすると 40 年以上、同じ場所にあるのですけれども、平成 25 年の日にちが正しいかどうか分かりませんが、4 月 25 日に今の場所にリニューアルオープンいたしまして、そこでその一角をぜひ地域のかたが誰でも公民館のような感じで使えるような場所として、イオンさんからぜひ提供していただきたいということはずっとお願いしております。広さとしますと、分かりやすい言い方で、ここの 3 分の 1 くらいがコミュニティ広場になるのでしょうか。畳の広さでいうとちょっと不明ですが。同じところにコミュニティ協議会の事務室になるところを併せて造っていただいで、そこは本当に狭い場所なのですけれども、そこを西区役所の地域課を通じて、まちづくりセンターとして登録いたしました。

そして、費用的なことなのですけれども、私どもコミュニティ広場についてもかかった費用は全部イオンが支出をされて、私が聞いているのは数百万円かかっているようですが、それからコミュニティ協議会の事務所として使わせていただいでいる場所の費用については、市役所から毎月、光熱費を含めまして定額の費用を新潟市から出していただいで、イオンに支払いをして、実質、コミュニティ協議会としては無料で使わせていただいでおります。そんな経緯で、いろいろな団体、地域のかたから利用できる場所として、今年で 8 年目になりました。

特に、スタートしたのが平成 25 年の 4 月 23 日で、コミュニティ広場はオープンセレモニーというものを平成 25 年 6 月 1 日と 2 日の 2 日間かけてやりました。出し物は 1 日目と 2 日目、順番は違っているかもしれませんが、一つはプロではないのですけれども、西区で長年、手品の活動をやっている、私と同じ名前の風間さんをお願いをして手品のショーを披露していただいたことと、それから新潟大学に通称、落研という落語研究会があります。その学生 2 名か 3 名、コミュニティ広場に高座を作りまして、お話をしていただいでスタートいたしました。

その後いろいろな団体からご利用いただいでおりまして、一昨年まではいちばん年間で実施回数が多かったのは子育て支援事業、0 歳児から 3 歳児までの親子に参加していただく、そういうものが毎月第 1 金曜日から第 4 金曜日までの午前中 2 時間。

(五十嵐委員長)

風間会長、すみません。大変貴重な情報、ありがとうございました。また細かいお話は直

接お聞きになっていただければと思います。

(風間会長)

すみません。費用的なものは先ほど言ったようなお話でございました。すみません、長くなりまして。

(五十嵐委員長)

どうもありがとうございます。大変失礼いたしました。もうひとかた手が挙がっていましたが、お願いいたします。

(村井委員)

青山小学校区コミュニティ協議会の村井です。資料2のいちばん最初の「地域包括ケアシステムの構築」のところですけども、目標値がないということになっているのですけれども、私の理解が違えばお話し願いたいのですけれども、地域包括ケアシステムは、以前は亡くなる場所が病院や施設ということが多数だったけれども、それを在宅で亡くなってもらいましょうと。そのためのシステムを作ろうではないかと。年度としては、団塊の世代、昭和22年生の人が75歳まで作ろうということで、国が言っていることだったのです。

それで私が言いたいのは、資料4-1にもありますように、青山小学校にいきますと、65歳でもかなり高い、西区がいちばんと。75歳の数字も一番となっているわけですけども、いろいろ支え合いを進めても人間は亡くなっていくわけですから、ぜひ一つのデータとして、亡くなった人がどこで亡くなったのかというデータを毎年周知してほしいと。これが1点目です。

2点目は、例えば最近の孤立死、マスコミ等に流されることもありますけれども、孤立死の定義は何かと。私は在宅で亡くなるのは私としてはしょうがないなど。昔みたいに親族が集まって末期の水をとるような事態ももうないと思いますので、そういうかたが亡くなるのはしょうがないと。しかし地域として、翌日に見つけてやるのか、2日目に見つけてやるのか、1か月も経っても見つからなかったという問題があるわけですから、その亡くなり方。亡くなり方というものは未知数の問題として、そのデータも把握してもらいたい。そのことが結果的に地域の支え合いや見回りの強化、いろいろな医療体制などを含めてデータとしては分かりやすくなると、こういうふうに私としては理解をしていますけれども、いかがなものでしょうか。

(事務局：小林係長)

ご意見、大変ありがとうございます。亡くなったかたが、どこで亡くなったかのデータ、それから孤立死のデータという2件のデータを毎年出してほしいということで、こちらもお調べしまして、お出しできるかどうかは確認させていただきたいと思います。

(村井委員)

個別の話ではなくて、データですから、西区全体でデータとしては 75 歳以上の一人暮らしが何人ですよと、そういう形で出してくれればいいことであって、誰々さんがどうだとか、そういう話ではないと思いますので、十分把握していただければ把握できるのではないかなと思います。

(社会福祉協議会：佐藤局長)

ありがとうございます。孤立死の関係につきましては、新潟市の民生委員・児童委員協議会連合会で、各民生委員に、その事案があった場合、事務局に報告を出してくださいということをお願いしております。ただ、それはあくまでも民生委員がかかわった事案ということになりますので、100 パーセントということではない状況です。

何年か前に警察に、当然、孤立または孤独死ですと警察がかかわってまいりますので、情報提供をお願いいたしましたけれども、やはりそのデータについては警察としては単独では渡せないというようなお話があったということですので、社会福祉協議会の立場で言うと、民生委員のデータを集計といいますか、連合会と連携を取りながら数字の集計をするということになりますけれども、100 パーセントではないということになりますので、それについては、また行政とも調整をしながらということになるのかなと思っております。また今言った関係機関の連携ということになっていくのかなと思っております。

(五十嵐委員長)

ご説明、どうもありがとうございました。時間も過ぎておりますので、ここら辺でご質問・ご意見は打ち切らせていただきまして、次の議題に進ませていただきたいと思います。

議題（２）「第３次いきいき西区ささえあいプランの事業計画について」、事務局より説明をよろしくお願いいたします。

(事務局：小林係長)

資料３「基本目標達成のための主な取組みと目標値」をご覧ください。第２次計画では、基本目標ごとに事業を分けておりましたが、該当する基本目標が複数になりまして、「再掲」となる事業も多いことから、第３次計画では事業ごとに該当する基本目標に丸をつけるという形にしております。

なお、基本目標については、資料３の別紙１として添付しておりますので、そちらでご確認ください。

目標値については、なるべく現状に即した設定とするため、６年後の数値ではなく、３年後の目標値とさせていただきました。

各取組みと目標値についてご説明させていただきます。こちらについても、お時間の関係

がありますので、取組み事業を抜粋してご説明いたします。恐れ入りますが資料3-1と資料3-2を併せてご覧いただきたいと思います。

まず、資料3-1のNO.5、資料3-2の1ページ目の「にしっこはぐくみLINK」についてです。こちらは、妊娠周期や乳児月齢に合わせたタイムリーな情報と、西区の子育て支援に関する情報・相談先や育児講座・イベント等のお知らせをLINEアプリで配信する事業です。

令和2年度の累計登録者数は3,520人であり、登録者数も順調に伸びております。3年後の目標値を累計登録者数5,500人に設定し、この目標を達成できるよう一層の周知に努めてまいります。皆様方におかれましても、周囲に小さいお子様がいるご家族がおられましたら、このアプリをお知らせいただけますと有り難いです。

続きまして、資料3-1の9番、資料3-2の2ページの「農福連携サポーター事業」です。この事業は、令和元年度から取り組んでいる事業であり、農福連携マッチング機関と連携を図りながら、「農福連携サポーター」を農場へ派遣し、障がい者へ農作業の指導をおこなうことで、障がい者の自立や就労支援をおこなうものです。サポーターの派遣時間の目標値を220時間としたところではあります。

次に、資料3-1の11番、資料3-2の4ページ目の「誰でもどこでも健康教室」です。この事業は、地域団体からの依頼で出張しておこなう健康教室で、計測、食事の講義、運動実技、歯科指導を実施する事業です。参加者のかたからも好評をいただいている事業であり、今後も継続して事業を進めてまいります。コロナ禍であり、3年後の目標値の設定はしていないところではあります。

次に、資料3-1の13番、資料3-2の3ページ目「小中学校認知症サポーター養成事業」です。こちらは、第2次計画の評価でもご説明しましたように、次代を担う小中学生に認知症について知ってもらうことを目的として、認知症サポーター養成講座をおこなうものです。第3次計画では、小学校のみならず中学校も対象としております。

子どもたちからは、「認知症について分かりやすく説明してもらって、よく理解できた」という趣旨のお手紙をいただくこともあり、意義のある事業だと考えております。3年後は、区内の小中学校18校すべてでの実施を目標設定いたしました。西区からは以上です。

(社会福祉協議会：佐藤局長)

続きまして、社会福祉協議会からご説明いたします。

資料3-1のNO.17、資料3-2では5ページ目の「見守り訪問活動の推進」でございます。こちらは、見守りが必要な高齢者のお宅を、地域のボランティアが訪問する友愛訪問、また歳末時期はおせち料理を持って訪問し、孤独感の解消や安否確認、人とのふれあいにつ

なげるものでございます。

西区の特徴といたしまして、自治会単位として実施されている団体がとても多く、今後も未実施地域へ広げていくため、3年後の目標値を118団体といたしました。また、現在コロナ禍で活動休止しているところも少しあり今後、再開を呼びかけていきます。

続いて、資料3-1のNO.26、資料3-2では6ページの「緊急情報キットの設置」です。こちらは高齢者や障がい者の世帯など、健康上の不安や見守りが必要とされるかたを対象に、病気や薬のこと、緊急連絡先などを書いたカードをプラスチックの筒に入れ、冷蔵庫へ入れておくものです。見守りの観点を大切にするため、自治会長を經由してお渡しする方法をとっております。

例えば二人世帯の場合は、キット1本の中に、カードが2枚入っているという形です。このカードの配布件数が令和2年度には4,600件あまりとなっており、この配布数をさらに増やせるよう周知に努めてまいります。3年後の目標値を800件増の5,406件といたしました。社会福祉協議会からは以上でございます。

(五十嵐委員長)

ご説明ありがとうございました。今ほどの事務局からのご説明に対して、ご質問・ご意見がございましたらお願いいたします。

(梶原会長)

坂井輪中学校区まちづくり協議会の梶原といいます。先ほどの令和2年度、第2次の分については質問しようと思ったのですが、第2次は終わっており、これを参考にした中で第3次について提言というか、お願いをしたいと思います。何より先ほど小泉さんからも話があったのですが、評価するということは、ある程度、目標値がなければなかなか難しいと思うのです。

第2次については、前にいろいろな話があって、結局、その目標値がなかなか設定できなかったのではないかと考えています。それについてどうのこうの言うつもりはありません。ただ、第3次については、それを踏まえた中で、厳しいコロナ禍の中で、それぞれの皆さん15地域におろして、だいぶ揉んできたものなのです。そういうことであれば、どうしてもやはり評価指数と言いますか、目標値と言いますか、それをある程度作らないと非常に評価するということが難しいと思うのです。だから今回の資料3-1を拝見しましたら、それを見ながら目標が出ていましたので私は安心したのですが、お聞きしたいことは、目標がないところを今後、どういうふうにして評価をされていくのかという部分と、それから最後の11番、これはできると思うのですけれども、なぜ目標がないのかなと考えていまして、「コロナ禍の中で目標設定ができません」という表現だったのですけれども、コロナがずっと3

年間続くわけではないですよ。コロナというのは特別で、目標値をやったけれどもできなかったと。その原因はコロナなどのいろいろな状況があっただめでしたとか、これが正解ではないかと思うのです。

だから当然、そういうものの目標設定はコロナがない、その中で目標設定するという目標値をつけるということが私は通常的手段だと思うのですが、いかがでしょうか。

(事務局：神田)

ありがとうございます。神田と申しますが、お答えさせていただきます。たしかにご意見、本当に有り難く頂戴いたしました。この事業に関しましては、依頼を地域から頂戴を受けましてお話をさせていただくという事業ということで、なかなか評価は難しいということもございました。

それからもう一つは、係といたしましても依頼を受けるだけではなくて、もう少し積極的に地域に働きかけていく事業に今後、組み替えていきたいなという事業も3年後以内に事業の組み替えを検討していかなければいけないかなど、係で考えておきまして、その2者を含めまして、目標設定が今回については「なし」とさせていただきましたが、梶原委員のご意見、本当にごもっともにお聞きしておりました。係のほうと一緒に検討させていただきたいと思っております。ありがとうございます。

(五十嵐委員長)

ご質問、ご回答、どうもありがとうございました。

(梶原会長)

とにかく目標値というものは大事なことだと思うのです。それをぜひ、できる限り目標値を設定しておかないと、皆さんに見えないわけですよ。先ほど小泉さんがおっしゃった、前の第2次もほとんどAなのです。そんなにうまくいったのだろうかと思うのです。それは、やはりそういうふうなものは第3次ではおかしいので、ぜひ作っていただきたいと思います。そうすると、ものすごく見えるかなと思うのです。よろしくお願いします。

(五十嵐委員長)

ありがとうございました。ほかにご質問ありますか。

(伊藤(和)会長)

五十嵐小学校区コミュニティ協議会の伊藤といいます。今年からこの企画が、いわゆる長期間にわたって6年計画が始まるわけですよ。その場合に、今までもそうだったのですが、6年計画ですから非常に長いのです。そして、このものは本当に多岐にわたっています。そんな中で、こういうことを着実にやるには、いわゆる委員会の中で今まではあまりやらなかったのですが、例えば2年に一度とか、3年に一度とか、検証をする考えを持っていますか。

検証を。

これだけ多岐にわたっていると、やはり何年間のうちに、ある程度、検証しないとだめなのです。私のコミュニティ協議会の考えは2年に一度検証をやろうということにしております。2年に一度ということは、自治会長の任期がいちばん多いのが2年なのです。うちのコミュニティ協議会は半年交替の自治会長もいますし、1年交替の自治会長もいますから、なかなか難しいのですけれども、最低でも2年に一度くらいの検証をして確認し合わないとはだめだと思うのです。そんな中、これからまた長きにわたってやるわけなのですけれども、委員会のほうは何年に一度検証をやろうという考え方はありますか。

(事務局：小林)

ありがとうございます。おっしゃるとおり、進捗状況の確認ですとか、現状に合っているかというような検証は、その都度必要と考えておまして、今回は第2次計画から第3次計画の切り替えということで6年間の評価をまとめてご説明させていただいておりますが、この切り替えの年以外については、毎年、第2回の推進委員会の場で、前年度の実績をまとめたものを推進委員の方に評価をしていただいているところでございますので、今後につきましても、毎年そのように進めてまいりたいと考えております。

(村井委員)

青山の村井です。また地域包括ケアに関係することですけれども、支え合い、今日の会の主要の趣旨ですけれども、地域の支え合い。支え合いの私の考えは、行政の仕組みと地域の仕組みとセットでおこなわれてやっている、そのように進んでいるのだろうと思いますけれども、考えとしては、そういうことだと思います。

先ほどのことですけれども、在宅で亡くなるということは、在宅で暮らす、地域で暮らすということですよ、亡くなれば、基本的に。亡くなるまで、いわゆる地域で一緒に暮らすということだとすれば、いろいろな施設がありますけれども、地域密着型の多機能型の施設というものがありますけれども、その数というものが非常に私としては重要だなと思っています。

それで質問ですけれども、西区はどのくらいの施設を予定して、現在いくつあるのかということをお聞きしたいと思います。

(五十嵐委員長)

事務局、今お答えできますか。また後日お調べした上で。ありがとうございます。では、そのようにお願いいたします。

ほかに、ご質問等ございますでしょうか。細野委員、お願いいたします。

(細野委員)



細かい質問があるのですけれども、西区の特定健診の受診率がほかに比べると低いということで、少しでも上げたいなと保健師の方が地道に頑張っておられる最中なのですからけれども、その辺の目標値の設定というものは非常に難しいのだと思いますけれども、そういった目標について、基本目標になっているとか、あるいは基本目標達成のための取組みということに挙げられているのでしょうか。お願いします。

(事務局：神田)

ご質問ありがとうございます。続けて神田のほうでお話しさせていただきます。福祉計画ということで、保健のデータは今日お持ちしていないのですけれども、たしかに3割、4割弱ということで、決して高くはない数値でございます。

ただ本当に今、おっしゃっていただきましたように、保健師の日々の地道な活動で、少しでも上げるようにということで、毎年、微増はしている状況です。保健師の活動といたしましても、毎年、特定健診の受診率ということにつきましては、各区の代表で、今年はこれくらいの数を目標に頑張りましょうということで活動しておりますので、今日は具体的な細かい数字は申し上げられなくて大変申し訳ないのですけれども、保健師の活動の目標ということで、毎年数字をあげて活動しているところでございます。

今日、来ておりますけれども、坂井輪の毎年、対象となる地区を変えて、個別で、コロナの関係で家庭訪問は控えているところもございますが、電話ですとか郵便といったような形で受診率向上に向けて活動させていただいております。

(村井委員)

だいたい、いつ頃回答いただけるのですか。先ほどの私の質問は。

(五十嵐委員長)

いつ頃回答いただけるかということなのですが。

(事務局：神田)

今ほど質問頂戴いたしました高齢者の施設の回答と一緒にさせていただきます。

(村井委員)

地域密着多機能型の施設の計画と現在の。後日でもいいのですよ。

(事務局：田中課長)

課長の田中ですが、先ほど施設の数のお問い合わせでしたけれども、そちらでしたらお調べすればすぐに分かりますので、来週中にご回答ということで、よろしいでしょうか。ありがとうございます。

(五十嵐委員長)

ありがとうございました。よろしく願いいたします。小泉会長、お願いします。

(小泉会長)

再びお願いしたいのですけれども、今、目標値の設定の説明だと思っておりますけれども、数字はたしかに書いてあるのですけれども、問題は、どうしてこういう数値にしたのかという考え方なのです。先ほどの説明の中では、一つ前は 800 円プラスしたということで、なぜ 800 円なのかということもあります。ですので、一つは目標値というものは、やはりどうしてこういう目標値にしたのかという考え方をお聞きしないと、いいのかどうか判断できません。それが一つ。

それから、17 番の先ほどお聞きした「見守り訪問活動の推進」なのですけれども、これはご承知のように、今、高齢化がものすごく進んでいます。3 年後だとしても、実際、私どもの自治会でも相当、孤独死だとか、それから一人世帯がどんどん増えています。ですので、そういういわゆる高齢化率を考慮して数値を考えていくべきではないのかと。簡単に言いますと、17 番は 1,337 世帯で 3 年後も 1,340 世帯。数字を丸めたくらいの話なのですが、それはそれでいいのでしょうかけれども、何かお考えはあるのか。私とすれば、高齢化が進んでおりますので、見守りというものはもっと必要だろうと思っております。ですので、目標はできる目標もあるかもしれませんが、やはり努力するというのもあるので、いわゆる高齢化なものも誰しも知っているわけですし、西区も高いわけですので、そういうものを踏まえた上での数値設定をされているのかどうか。

(社会福祉協議会：佐藤局長)

ありがとうございます。見守りの活動につきましては、先ほどご説明しましたように、現在、自治会単位で実施をしているということで、西区が自治会だけで 300 ちょっと。今、実際にやっているものは 118 ということですのでけれども、基本的には各自治会で実施をしていただければ訪問世帯数も当然増えているということにはなろうかと思えます。

公の場なので、ここでお話をすると記録に残ってしまうのですけれども、あえて言わせていただくとすると、現在、各地区に地区社会福祉協議会というものを設立させていただきました。社会福祉協議会といたしましては、地区社会福祉協議会の一つの活動、事業実施というのですか、一つの面として取り組んでいただくということで、その地区が今まで自治会が点々としていたものが地区社会福祉協議会全体で友愛事業に取り組ましようということで、それぞれの自治会等に働きかけをしていただくことで、地区全体で友愛活動の取組みが進むということも考えられるのかなと思っております。ただ、それが来年、再来年、3 年後ということはなかなか難しいかなとは思っておりますけれども、私の考えといたしましては、そういう理想的なことも考えられるかなと思っております。

今日も紹介をさせていただきました、緊急情報キットにつきましても、同じような形で自

治会、町内会で実施しておりますが、それも地区社会福祉協議会の一つの取組み事業ということで取り組んでいただくことによって、その地区の対象世帯のかた、全地区と言いますか、対象のかたに、それが配布をされるというようなことも可能なのかなと思っておりますので、小泉会長が言われているように、目標値につきまして、過少設定をしている部分もございませぬけれども、今後、そのような地区社会福祉協議会の活動も含めまして、今、地区社会福祉協議会が各地区にお願いしているところを広げていけるよう、これから検討してまいりたいと思っております。説明になっていないかもしれませんが、以上でございます。

(五十嵐委員長)

ありがとうございました。

(小泉会長)

それは裏事情なのか、それはいろいろあると思うのです。要は、この目標はやる気がどのくらいだと。これは難しいから今までどおりにしますと、単純に丸、バツ、三角で、力を入れて絶対頑張ろうというところは丸だとか、そういうようなことを。私はやはり目標なので、それは全部できる、頑張れるということは無理だと思っておりますけれども、目標である以上は、やはり全部高い目標は要らないと思っておりますけれども、これは実現不可能だから、ちょっと厳しめにと、そういうメリハリがあるのかどうなのか。今のお話だと、ただ社会福祉協議会の促進のために、これを推進しているだけだと、それは目標ではないのではないかと思っておりますが、そういうところを考えていただいて、設定をもう一度よくお願いしたいと思えます。

(五十嵐委員長)

貴重なご意見、どうもありがとうございました。

(原委員)

今の見守りの問題なのですけれども、私は目標値は少なくともいいと思うのです。見守り世帯が少なければ、自分は民生委員をやっていますけれども、該当するところは、それなりに報告して見守りをするようにしています。その一環としてヤクルトを配ったり、そういう動き。だから 70 歳以上の一人暮らしで見守りが必要だなという人を対象にやっているのは、ある意味、そこの部分はあまり目標値を立てたって、私たちからすれば少ないほうがいいという部分もあるので、ちょっと相反するけれども、そんなところもあるのではないですかね。

(五十嵐委員長)

ありがとうございました。事業によって、どう目標を立てるかということとか、何を根拠に目標値を設定するのかということが違ってくるかと思いますが、何かしら説得力のある説明があるといいなというご意見として承りました。ありがとうございました。

次に進みます。議題（３）「地区懇談会について」、説明を事務局からお願いいたします。

（事務局：加野）

いつもお世話になっております。西区社会福祉協議会の加野と申します。

皆様のお手元に当日資料という形で、「地区懇談会について」という資料があるかと思えます。第３次いきいき西区ささえあいプランの地区別計画を昨年度、皆様のご協力により作っていただきました。こちらは６年間をかけて達成していくという形になりますけれども、毎年、毎年、今年どれくらいできたのか、そして来年度、どんなことに力を入れていくのか、そういったことについて、地区で話し合う機会を持ちたいと思っております。

今年度については、スタートは今年度末に、また令和３年度、コロナ禍でしたからできないこともたくさんあったと思いますが、令和３年度、こんなことができたねと。では令和４年度はどんなことをしようかというような話し合いをぜひ設けたいと思っておりますので、皆様にご協力をいただければと思います。

詳細につきましては、西区社会福祉協議会より秋頃、文書でご案内いたしますので、ご承知おきいただければと思います。よろしくお願いいたします。

（五十嵐委員長）

ありがとうございました。この件について、何かご発言あるかたはいらっしゃいますか。

（玉木委員）

西内野コミュニティ協議会の玉木です。私は今年、初めてこの会に参加させていただいて、こんなにたくさんの事業に取り組んでいたのだなということで、余りにも自分が何も知らなかったもので、とても衝撃を受けています。

私は地域教育コーディネーターもしていますので、特に子どもたち、小さい子や小・中学生のことがすごく気になっていて、認知症のサポーター講座等を見て、こういうこともやっていらしたのだなということすごく思っています。

ただ、ものすごくたくさん多岐にわたっていますよね。そのささえあいプランも、それぞれの地域が作ったときも、自分たちの地域の実態に合わせて私たちは作っていて、そのときに、この事業はこういうところにつながっていくのだということはまったく知らずに、この地域にはこういう問題があるから私たちとしては、こう頑張ろう、みたいな形で作ったのですけれども、それを１年、１年、検証していくときに、この問題は社会福祉協議会や西区の福祉課、それからいろいろな部署関係の、こういう課の、ここのこの事業につながっているみたいな情報を与えてもらいながら、そういう情報提供があると、より具体的に、先ほどの子育てのLINEのことを周知していきたいという小林係長からお話があったのですけれども、いろいろな事業も周知が大事とか、本当に必要な人に届いていない、どうやって伝えた

らいいかというものもあるのですけれども、やはり具体的にどういうふうに周知していくのかというところを、それぞれの懇談会のときに話を出すと、その地域の人たちは顔が見える関係なので、具体的ないい案が出てくるかなと。

例えば、子育てのLINEだったら、健診のときには必ずこういう情報を伝えるとか、それから地域の中の子育て活動をしている、西内野だったら「こぼとの会」などもやっているの、そこで教えるとか、そういう具体的なその地域の活動等とどういかに結びつけるか。結びついていかないと、やはりただの絵に描いた餅になってしまうし、数値目標をあげても、ただの目標でしかないの、ぜひ振り返りの年1回の懇談会のときには、そういうことをどんどん言っていただけたらなと思いました。

(五十嵐委員長)

貴重なご意見、どうもありがとうございました。何かご回答ありますか。

(社会福祉協議会：加野)

大変ありがとうございます。これから年度末におこなう振り返りの機会というものの中身は、これからどんな形にしていこうかと考えていたのですが、そういった形で、本当に実際、地域福祉、行政の計画と住民の具体的な取組みが有機的につながるのが、この計画の大事なところだと思いますので、そういった形で連動できたらと思います。大変貴重な意見、どうもありがとうございました。

(五十嵐委員長)

ありがとうございました。

次に、議題(4)「その他」の議題に進みます。「推進委員の改選について」、事務局からお願いいたします。

(事務局：須貝)

西区役所健康福祉課の須貝です。いつもお世話になっております。こちらについて、私から説明させていただきます。

お手元の資料5、A4横で推進委員の方のお名前を書いているものですが、「いきいき西区ささえあいプラン推進委員会委員 任期図」でございます。こちらの任期図については、それぞれ推進委員ご自身の分だけを配布させていただいております。

まず、推進委員の任期についてですが、原則3年となっております。今回の任期は令和元年度から令和3年度の3年間の任期の状態ということで、今年度が一つのサイクルの最終年度になるということで、ご理解をお願いいたします。

令和4年度については、委員の皆様が一斉改選ということになります。コミュニティ協議会の会長様におかれましては2月頃に推進委員の選出について、また改めてご依頼をさせて

いただきますので、ご承知おきいただきますようお願いいたします。

なお、委員改選となりますが、要綱の規定により委員の再任については、再任は可能なのですが、通算6年を超えて再任することができないと定められております。現在の委員のかたが、どのくらい務められたかは、お手元の任期図でご確認ください。

また、委員改選にあたり公募委員を募集いたします。募集時期は令和4年1月頃を予定しています。よろしくお願いいたします。

(五十嵐委員長)

ありがとうございました。ご質問等ございますか。

次に進みたいと思いますけれども、事務局からほかにごございますか。

(事務局：須貝)

私からもう1点お話しさせていただきます。本日お配りいたしました資料4-1「コミュニティ協議会別データ」と資料4-2「コミュニティ協議会別 高齢者数・高齢化率の推移」については、例年第1回のいきいき西区ささえあいプラン推進委員会でお配りさせていただいている資料になります。資料4-2については、5年間の高齢者数と高齢化率の推移をコミュニティ協議会別にまとめたものになります。

ただ、こちらについては、お時間の関係もございますので、大変申し訳ございませんが、配付のみとさせていただきますことをご了承ください。

(五十嵐委員長)

ありがとうございました。

以上をもちまして、本日の議題は終了となります。司会の不手際で進行がまいちスムーズではなかったところもございますが、お許しください。本日は、ご協力ありがとうございました。事務局にお返しいたします。

(司 会)

五十嵐委員長、議事進行、大変ありがとうございました。

それでは、健康福祉課長の田中より閉会のごあいさつをさせていただきます。

(田中健康福祉課長)

健康福祉課長の田中です。本当にありがとうございます。ひとことだけ、この場でお礼を述べさせていただきます。昨年度の計画策定の際には、コロナ禍の中、大変熱心に取り組んでいただき、本当にありがとうございました。

私どもとしましても、地域の課題や皆様方の問題意識をすごく肌で感じることができる大変貴重な機会でした。そして、何より皆様方の地域への思いや志といったものをひしひしと感じさせていただき、大変有り難いことだと改めて感じた次第です。

今後は、プランの実現化に向けてということになりますが、私どもも全力でお手伝いをさせていただきますと思っておりますので、些細なことでもお声がけいただければ嬉しいです。今後ともどうぞよろしく願いいたします。本日は、ありがとうございました。

(司 会)

以上をもちまして、令和3年度第1回いきいき西区ささえあいプラン推進委員会を終了いたします。ありがとうございました。